

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス いっぱい

支援プログラム

作成日

令和7年

2月

10日

法人（事業所）理念		児童をはじめ、そのご家族が安心して通える施設を作り、心の居場所になることを目指します。					
支援方針		「笑顔」「楽しい」「出来た！」で溢れる生活が続くような支援をします。 児童やその保護者に寄り添って、どうすればより生活しやすくなるか、一緒に取り組んでいきます。					
営業時間		10時	30分	18時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支援内容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 入退室時の身支度・自分の荷物を管理する等、基本的な生活スキルの獲得ができるよう支援する。 様々な遊びや設定活動を取り組む中で、時間や空間を職員や本人が整え、生活しやすい環境を整える。（分かりやすく構造化する） 楽しく食事ができるようにクッキングを活動に取り入れて、食への興味・関心を広げていく。また、口腔内機能・感覚等に配慮しながら、咀嚼や嚥下、姿勢保持に関する支援を行う。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 粗大系の運動を活動に取り入れ、日常生活に必要な姿勢の保持やバランス感覚など、遊ぶ中で筋力の保持・強化を測る。 スライム作り、粘土など五感を使った活動を多く取り入れ、それぞれのお子様の感覚や認知の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境整備等支援を行う。また、保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援していく。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 集団遊びの経験を積み、環境から必要な情報を習得し、そこから行動につなげる認知過程の発達を支援する。 制作や設定の活動を取り組む中で、数量・形の大きさ・重さ・色の違いなど習得の為の支援を行う。 認知の特性を踏まえ、自分にとってくる情報を適切に処理できるよう支援し、認知の偏り等の個々の特性に配慮する。 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な事物と言葉の意味を結び付ける等により、自発的な発声を促す支援を行う。 言語だけでなく、文字や絵カード、ジェスチャー等多様なコミュニケーション手段を活用し、意志の伝達ができるよう支援する。 ゲーム、ジェスチャーゲームなどコミュニケーション能力向上に向けた集団遊びを取り入れる。 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 周囲に子供がいても無関心である1人遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。 様々な活動を通して、自分のできること、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援する。 					
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> フィードバックを大切に、発達特性に配慮した家庭環境の整備と対応の仕方の援助を行う。 希望する保護者との面談。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 就学先との連携を図るため、保護者および学校から求められた際の情報共有。関係者との面談。支援シートの作成。
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 保育所・学校・医療機関等との情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助等に取組む。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 外部研修・セミナーの内容共有。動画研修や資料の共有など。
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 季節ごとの行事（節分、ひな祭り、七夕、夏祭り、お正月など）を取り入れた支援プログラムの策定。 					